

23 年産米に関する放射性物質の検査結果について (第 8 報)

昨日、「コシヒカリ」13 点について、玄米中の放射性セシウム濃度を検査したところ、これまでに公表した 25 点を含め、分析した 38 点すべてが不検出でした。

これで、予定した 23 年産米に関する調査が終了し、収穫前の参考調査「てんたかく」17 点、収穫後調査「てんたかく」38 点、収穫後調査「コシヒカリ」38 点全てについて、放射性セシウムは検出されませんでした。

○収穫後調査「コシヒカリ」

1. 検査対象 品種「コシヒカリ」を収穫後、乾燥・調製した玄米
2. 検査実施機関：富山県農林水産総合技術センター（ゲルマニウム半導体検出器）
3. 検査結果（検査日：9 月 21 日、検体数：13 点）

26	富山市（細入）	不検出	33	南砺市（上平）	不検出
27	黒部市（黒部A）	不検出	34	南砺市（福光）	不検出
28	黒部市（黒部B）	不検出	35	射水市（下）	不検出
29	黒部市（宇奈月）	不検出	36	入善町A	不検出
30	南砺市（利賀）	不検出	37	入善町B	不検出
31	南砺市（城端・井口）	不検出	38	朝日町	不検出
32	南砺市（平）	不検出			

※ 採取日（搬入日）は、9/13～9/17（9/20）
※ 「不検出」とは、検出限界未満を示します。
※南砺市（利賀）は品種「とがとおめ」で検査

4. 公表HP：<http://www.pref.toyama.jp/sections/1001/201103eq/housyanou-agri.html>

検査終了に当たっての知事コメント

本県は、国が米の放射性物質の調査を指示した汚染リスクの高い地域（17 都県）には含まれていませんが、農業団体からの要請などもあり、県独自に玄米中の放射性セシウム濃度の検査を実施しました。

県内全域から抽出した 93 点について調査したところ、いずれのサンプルからも放射性物質は検出されませんでした。

本県産米の安全性が改めて確認されたことは、県産品への信頼やブランド力の確保・向上に結びつくものと考えています。

これからコシヒカリの出荷が最盛期を迎えますが、生産者や県内外の消費者の皆さんに安心していただくとともに、安全で、おいしい富山米を積極的に購入していただきたいと思っております。

(参考)

1 参考調査（収穫前調査）

- ①目的 早生品種を収穫前に調査することで、いち早く県産米の安全性を確認
- ②対象 [品種] てんたかく 収穫1週間前に検査用に刈取り、乾燥・調製した玄米
※南砺市（福光）は、てんたかくの代替として品種「五百万石」で検査
- ③点数 17点（概ね市町村毎に1点）
- ④時期 8月24、25日（サンプル採取：8月19日）
- ⑤検査機関 富山県農林水産総合技術センター（検査場所 富山県環境科学センター）
- ⑥検査結果 17点全てが「不検出」

2 収穫後調査

- ①目的 収穫後に調査し、県下全域の安全性を確認
- ②対象 [品種] てんたかく、コシヒカリ
※南砺市（城端、福光）は、てんたかくの代替として品種「五百万石」で検査
※南砺市（利賀）は、コシヒカリの代替として品種「とがおとめ」で検査
- ③点数 38点（概ね旧市町村毎に1点）×2品種
- ④検査時期 てんたかく（8月29日～9月5日）
コシヒカリ（9月13、15日、21日）
- ⑤検査機関 てんたかく：民間委託「(株)北陸環境科学研究所」
コシヒカリ：富山県農林水産総合技術センター
（検査場所 富山県環境科学センター）
- ⑥検査結果 てんたかく：38点全てが「不検出」
コシヒカリ：38点全てが「不検出」

※分析機器はいずれの機関もゲルマニウム半導体検出器